



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 高橋 明宏

TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,581	17.5	701	52.1	697	52.5	431	64.5
24年3月期第3四半期	2,197	17.3	461	92.1	457	97.8	261	106.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 435百万円 (68.7%) 24年3月期第3四半期 257百万円 (111.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	37.83	—
24年3月期第3四半期	22.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	2,378	1,391	58.5	122.13
24年3月期	2,154	1,081	50.2	94.93

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,391百万円 24年3月期 1,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,552	14.2	983	35.0	950	31.4	570	34.4	50.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,370,000 株	24年3月期	12,370,000 株
② 期末自己株式数	975,094 株	24年3月期	975,067 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	11,394,922 株	24年3月期3Q	11,394,933 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、一部に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州債務危機問題や世界的な景気の減速懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

同様に、医薬品業界におきましても、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。近年、既存企業の規模拡大、事業譲渡、廃業などにより業界内の淘汰が進んだ結果、直近の受注状況は改善しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、増加するがん領域及び中枢神経系領域の案件の受託体制を強化するとともに、引き続き営業活動を強力に推進し、新規案件の受託及び既存案件の増員の契約を締結することができました。この結果、臨床開発モニター（CRA；Clinical Research Associate）の高い稼働率を維持することができたため、前年同四半期に比して利益金額、利益率ともに改善しております。同様に、CSO事業についても、営業活動を強力に推進した結果、新規案件の受託に成功し、収益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,581百万円（前年同四半期比17.5%増）、営業利益は701百万円（前年同四半期比52.1%増）、経常利益は697百万円（前年同四半期比52.5%増）、四半期純利益は431百万円（前年同四半期比64.5%増）となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ223百万円（10.4%）増加し、2,378百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加並びに売掛金の減少によるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ86百万円（8.0%）減少し、986百万円となりました。これは、主に未払法人税等の減少によるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ309百万円（28.6%）増加し、1,391百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

#### （キャッシュ・フローの状況の分析）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より542百万円増加し、1,524百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は576百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益697百万円の計上及び売上債権の減少額280百万円があったものの、法人税等の支払額416百万円があったこと等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は3百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出3百万円があったこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は34百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増額120百万円があったものの、長期借入金の返済による支出22百万円及び配当金の支払による支出125百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 概要

当第3四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に発表いたしました内容から修正しております。詳細につきましては、本日(平成25年1月28日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成24年3月期末の受注残高に比べ平成25年1月28日時点の受注残高は8.5%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は改善しており、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRAの増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成24年 3月期末 (A)	平成25年3月期		増減率(%) (B-A)/A
		第3四半期末	平成25年1月 28日時点(B)	
受注残高	3,507	3,715	3,804	8.5
内訳	武田薬品工業 グループ	903	1,183	31.0
	田辺三菱製薬	42	780	1,733.4
	塩野義製薬	226	487	131.2
	中外製薬	—	464	—
	大塚製薬	511	255	△50.2
	第一三共	893	123	△86.1
	その他	930	420	473

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	881,093	1,323,930
売掛金	744,391	464,137
有価証券	100,863	200,930
前払費用	31,552	37,099
繰延税金資産	46,449	23,726
立替金	54,175	41,593
その他	4,033	131
流動資産合計	1,862,558	2,091,548
固定資産		
有形固定資産	47,712	39,268
無形固定資産	1,077	875
投資その他の資産		
差入保証金	225,860	224,060
その他	17,574	22,717
投資その他の資産合計	243,434	246,778
固定資産合計	292,225	286,923
資産合計	2,154,784	2,378,471
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	120,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	89,503	87,123
未払費用	44,713	47,468
未払法人税等	262,793	92,301
未払消費税等	46,045	33,966
預り金	48,532	63,111
賞与引当金	66,012	37,731
リース債務	7,429	5,148
その他	629	890
流動負債合計	595,659	517,742
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	77,500	55,000
リース債務	9,825	9,931
退職給付引当金	40,075	54,177
固定負債合計	477,401	469,108
負債合計	1,073,061	986,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,090,090	1,395,820
自己株式	△289,159	△289,174
株主資本合計	1,087,973	1,393,688
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,250	△2,067
その他の包括利益累計額合計	△6,250	△2,067
純資産合計	1,081,723	1,391,620
負債純資産合計	2,154,784	2,378,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,197,699	2,581,359
売上原価	1,262,966	1,415,875
売上総利益	934,732	1,165,483
販売費及び一般管理費	473,220	463,625
営業利益	461,512	701,857
営業外収益		
受取利息	135	341
為替差益	135	—
営業外収益合計	270	341
営業外費用		
支払利息	4,089	4,298
為替差損	—	82
その他	0	0
営業外費用合計	4,089	4,380
経常利益	457,693	697,818
特別損失		
固定資産売却損	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	457,682	697,818
法人税、住民税及び事業税	193,546	249,505
法人税等調整額	2,155	17,237
法人税等合計	195,701	266,743
少数株主損益調整前四半期純利益	261,980	431,074
四半期純利益	261,980	431,074

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	261,980	431,074
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,989	4,182
その他の包括利益合計	△3,989	4,182
四半期包括利益	257,990	435,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	257,990	435,256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	457,682	697,818
減価償却費	19,988	15,334
長期前払費用償却額	2,246	2,094
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,144	△28,280
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,499	14,101
受取利息及び受取配当金	△135	△341
支払利息	4,089	4,298
為替差損益 (△は益)	△135	82
有形固定資産売却損益 (△は益)	11	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,460	280,254
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,667	△12,078
立替金の増減額 (△は増加)	△2,199	12,582
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,870	△5,305
未払金の増減額 (△は減少)	17,227	△1,300
預り金の増減額 (△は減少)	21,254	14,578
その他	2,754	4,156
小計	513,475	997,995
利息及び配当金の受取額	135	269
利息の支払額	△5,106	△5,152
法人税等の支払額	△94,253	△416,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,250	576,342
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,782	△3,357
有形固定資産の売却による収入	23	—
無形固定資産の取得による支出	△1,050	—
長期前払費用の取得による支出	△45	△437
差入保証金の差入による支出	△249	△412
差入保証金の回収による収入	618	853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,485	△3,353
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	120,000
長期借入金の返済による支出	△22,500	△22,500
自己株式の取得による支出	—	△15
配当金の支払額	△125,344	△125,083
リース債務の返済による支出	△8,768	△6,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,612	△34,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,788	4,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	294,364	542,904
現金及び現金同等物の期首残高	549,407	981,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	843,772	1,524,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。